

ハナミヨウガ		<i>Alpinia japonica</i> (Thunb.) Miq.	絶滅危惧Ⅱ類
			ショウガ科
選定理由	岐阜県では集団と個体数が少ないうえ、最近減少している。		写真(高橋弘)
形態の特徴	高さ30-40cmの多年草。花序に長さ約2.5cmの花を15-60個つける。花はごく短い花柄をもち、花序の上部の花は単独で、中部以下の花は短い総花柄の上に2-3個つく。花被は赤く、雄蕊由来の唇弁は脈だけが赤くなり他の部分は白色。果実は長さ1.3-1.5cmの楕円体で赤色。		
生態的特徴	林床や林縁に生育する。やや暗い場所にも見られる。花期は5-6月。		
分布状況	中国、台湾に分布し、日本では関東以西から九州と奄美に分布する。岐阜県では県南の西部と中部の西端部の、標高120m以下の平野部に限られる。		
減少要因	開発による生育地の破壊。		
保全対策	生育地の保全。		
特記事項			
参考文献			

文責: 高橋弘